

8/1

北海道本別町からの
行政研修職員 多田真喜子さん

友好都市の北海道本別町から行政研修職員として多田真喜子さん（31歳）が、8月1日から10月末までの3ヶ月間、本市に



初日から笑顔でまわりを和ませる多田真喜子さん

派遣されました。

総合政策推進課に所属し、市総合計画の策定作業や各種イベントに参加。市政業務を通じて市民と交流を深める予定です。

多田さんは「職員だけでなく多くの市民の方とふれあい、小松島市でしか経験できないことをたくさん吸収したいと思います。よろしくお願いします」と研修に向けての意欲を語られていました。本別町との人事交流は平成11年から行われており、本別町からの職員派遣は、多田さんで6人目。女性が本市へ派遣されるのは、今回が初めて。本市からは今まで男性3人、女性1人の計4人が派遣されています。

善意の寄付

ボランティアグループひまわりの会（岩佐昌昭代表）が7月22日、市役所を訪れ、子どもたちに読みかきをするための本の購入費に使って欲しいと5万円を寄付されました。

このお金は、学校図書を購入に使用させていただきます。



稲田市長に寄付金を手渡す岩佐代表（左）

8/6

小学生の英語指導に
グレン・エイドリアンさん赴任



新たに赴任したグレン・エイドリアンさん

市内の小学生の英語指導助手（ALT）として来日、赴任した、

グレン・エイドリアンさん（22歳、アメリカペンシルベニア州出身）が8月6日、市役所を訪れ稲田市長に着任のあいさつをしました。

エイドリアンさんは、ニューヨーク州立大学オルバーニ校を今春卒業。平成17年8月から翌年5月まで関西外国語大学に留学した経験があります。

また「弥生時代や縄文時代に興味があり、和食が大好き」と話されていました。



スコット・ビンセント・スウェンソンさん

なお、市内中学生の英語指導助手には昨年同様、スコット・ビンセント・スウェンソンさん（28歳・アメリカユタ州出身）が継続して着任されます。

二人は9月から1年間の予定で、市内の各小・中学校を巡回して子ども達に英語を教えます。

8/1

小松島市自主防災連合会が発足
市全体の防災力向上を図る

市内の各自主防災組織が情報の共有化や人的交流など、地域の枠を超えた相互連携のもと、自主防災会の強化充実と市全体の防災力の向上を図るため8月1日、小松島市自主防災連合会が発足し、市役所で設立総会が行われました。

総会には、各自主防災組織の代表者や市の関係者ら約30人が出席。会長に田浦町自主防災会

の市原雅博会長が選出され、今後の連合会としての事業計画や方向性などについて話し合われました。

市内には、現在23の自主防災組織があり、世帯ベースの組織率は約64パーセント。来年3月末までに7団体を新たに発足させ、組織率100パーセントを目指しています。



総会には各自主防災組織の代表者が参加